

アポプラスキャリア ラーニングカフェ 主治医・産業医のホンネから学ぶ メンタルヘルス不調者の復職支援



メンタルヘルス不調者の復職支援は、産業保健に携わる方なら誰もが抱えるお悩みではないでしょうか。アポカフェ第2回は、産業保健師・人事部での就業経験を持つ講師と産業医・精神科医とのセッション・情報提供を通して、メンタルヘルス不調者の復職支援について考えます。

開催日時：2023年11月15日 16:00-17:30

会場：新東京ビル4F SR MeetupSpace

講師：久保さやか 保健師

アポプラスキャリア株式会社 エグゼクティブアドバイザー

松井康絵 医師/一般社団法人NOHL 日本橋産業保健診療所

知りたい！聞きたい！復職支援の困り事

今回は産業保健師、衛生管理者、人事部などの復職者と直接関わる部署の申し込みが目立ち、13名の健康管理担当者が集まりました。事前アンケートでは多くの「知りたいこと」や「困っていること」が寄せられ、講師から「復職の適切なタイミング」「人事と産業保健職の役割分担」「主治医と産業医の見解に相違があるときの対応」など、その一部が共有されました。



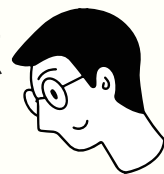
産業医&主治医が語る復職支援のリアル

ゲストスピーカーとして登壇した松井康絵医師は、産業医と主治医の2つの立場でメンタルヘルスに携わっており、メンタルヘルス不調者の復職支援について、職場でのなやましさや復職支援時のポイントなどについて情報提供しました。また、産業医も職場関係者も、復職判定をする際に主治医の診断書を根拠にしているケースが多いとした上で、教科書には載っていない主治医の気持ちや人事の本音などを語りました。主治医は診断書をどのように記載しているか、産業医と健康管理担当者による職場復帰支援のあり方などを聞いた参加者は、自社のケースを思い浮かべながら理解を深めました。最後に松井医師は、休職中から復職を見据えた職場の受け入れ準備が始まっているとし、復職までのステップを示し、健康管理担当者として各部署とどのように関わるか、事前に考えていくことが必要だと話しました。



参加者の感想

私の今の立場から、会社のルールを作る必要があることなどを考えることができました。



主治医と産業医の考え方を知り、他社の復職支援の実際を聴けるよい機会となりました。

トークセッションで心のモヤモヤを解消

情報提供後に行われた、松井医師と講師によるトークセッションでは、健康管理業務を遂行する上で知りたいことを講師がピックアップし松井医師に投げかけ、健康管理担当者が日頃から抱えるモヤモヤを解消する一助を担いました。セッションの合間の時間を活用して、同じテーブルになった参加者同士、各事業所での現状について共有し合い「自社を捉えて他社を知る」機会を持ち、そのことが参加者の満足度にもつながっていました。

お問い合わせ先

アポプラスキャリア株式会社
ヘルスケアソリューション事業部
カスタマーサクセス

〒100-0005

東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
新東京ビル7階

TEL 0120-842-862

MAIL apc-kan543@ap-c.co.jp